（２４） み つ ば

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 根腐病 *Pythium aphanidermatum* *P. apleroticum* *P.* sp. 株枯病 *Fusarium oxysporum* f. sp. *apii*	1. 連作を避け、無病地を選ぶ。 2. 発病株は早目に抜き取り処分する。 3. 夏期高温時に出やすいので、遮光などをして温度上昇を防止する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. タチガレン液剤は根腐病にのみ登録がある。	発病初期	32	タチガレン液剤
2 べと病 *Plasmopara nivea*	1. 排水を良好にする。 2. 密植にならないよう、厚まきを避ける。 3. 被害葉を処分する。	根株養成期	M5	ダコニール１０００
		発病初期	P7	アリエッティ水和剤
3 立枯病 *Rhizoctonia solani*	1. 連作を避け、無病地を選ぶ。 2. 発病株は早めに抜き取り、処分する。 3. 排水を良好にする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. 土壌消毒は、Ⅲ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	－ －	ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
		播種前	14	リゾレックス粉剤
		育苗期	U18	バリダシン液剤５
		発病初期	14 U18	リゾレックス水和剤 バリダシン液剤５
4 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	1. 過湿にならないように換気を良好にする。 2. 病葉、被害果を除去して埋める。	発病初期	11	アミスター２０フロアブル
5 菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*	1. 連作は避ける。 2. 発病株は早期に発見し、菌核をできる前に抜き取って処分する。 3. 排水を良好にし、過湿を避ける。 4. 密植したり、過繁茂にならないようにする。 5. 窒素過多にしない。 6. 夏期に湛水可能な圃地は、高温時に20日間以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発病初期	1	トップジンＭ水和剤
6 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 飛び込み軽減のため、育苗床を防虫ネット(1㎜目合以下) で被覆する。 3. 発病株は早めに処分する。	発生初期	4A 4A 4A	アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤
7 ヒメフタテンヨコバイ （てんぐ巣病）	1. 肥切れしないよう、施肥を十分行なう。 2. 被害株は早めに抜き取り、処分する。			
8 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 飛び込み軽減のため、ハウス開口部を防虫ネット(4㎜目合以下) で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. アファーム乳剤はヨトウムシにも登録がある。	発生初期	5 6 13	スピノエース顆粒水和剤 アファーム乳剤 コテツフロアブル
9 キアゲハ	1. 育苗床では防虫ネット（４㎜目合以下）で被覆する。 2. 幼虫は見つけしだい捕殺する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. カスケード乳剤はハスモンヨトウにも登録がある。	若齢幼虫期	6 15	アファーム乳剤 カスケード乳剤
10 ハダニ類	1. 圃場内及び周辺の雑草処理を徹底する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発生初期	6 6 15	アファーム乳剤 コロマイト乳剤 カスケード乳剤